

☎問い合わせ先

三原の光を観よう、 魅せよう。…… 18



瀬戸内三原
築城450年事業

「ふるさと三原」を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。



作業療法学科2年
村上智美さん

「兄弟3人で団結し、毛利を支えていくように」。父・元就の教えを守り、小早川家の養子となつてからも毛利のために力を尽くした小早川隆景ですが、その隆景も多くの有能な家臣たちに支えられていました。

今月は、小早川隆景の家臣の中でも、忠臣の呼び声が高い末近四郎三郎信賀ゆかりの地である久井町を村上智美さんと訪ねました。

「区画整理で現在は水田と畑になっています。末近氏は久井で新しく田を拓き、そこに住む人々と農作業などをして過ごし



「ごく普通の田んぼですけど、ここにお城があったんですか」と驚く村上さん。

「農地のすぐ側にお墓が建てられたのも、末近氏にそばで見守っていてほしいという人々の思いがあったからでしょうね」と村上さん。

「ここにある歌碑には『君がため名を高松にとめおきて心は賑る古郷の方』とあります。戦地で散った末近氏がどれほど久井を愛していたかが分かる文章です」



辞世の句が刻まれた石碑

「ここは、殿様臺と呼ばれ、地元の人たちの手できれいに管理されています」

「近くにある末近氏のお墓と伝わる場所にお参りしませんか」と向かったのは農地の中の石碑が並ぶ一角。

たと伝わっています」

「へえ。親しみやすいお殿様だったんですね。さぞ人々に慕われていたでしょうね。久井でおいしいお米が収穫できるのは、末近氏のおかげですね」と村上さん。

皆さんも末近氏のゆかりの地へ出掛けてみませんか。

☎築城450年事業推進担当室
0848-61-0450



自由に汲めるように整備されています

「すごい効能ですね。末近氏から、農作業に携わる人への贈り物かも」と村上さん。

「すい効能ですよ」

「足の調子が良くなった、胃痛・肩こりに効いたと評判を呼び、地元だけでなく全国から人が訪れているみたいです」

「村上さん、せっかく久井にきたのだから、有名な湧き水を飲みに行ってみませんか」と県道345号を進み、「健康の泉」と書かれた看板の前を左折。

「この調子が良くなった、胃痛・肩こりに効いたと評判を呼び、地元だけでなく全国から人が訪れているみたいです」



三原市の人口(8月31日現在)
※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	44,153 世帯 (+49)
人口	97,233 人 (-944)
男	46,581 人 (-336)
女	50,652 人 (-608)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

税金などの納期(普通徴収)

- 市県民税(第3期)
- 国民健康保険税(第4期)
- 介護保険料(第4期)
- 後期高齢者医療保険料(第4期)

納期限 10月31日(月)
夜間収納窓口(19時まで)
木曜日

航空機の騒音測定結果(8月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=49.3
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.4

あ・と・が・き

スポーツに熱くなったこの夏、強く印象に残ったのはリオ五輪陸上男子400mリレーの銀メダル。まったくお家芸ではない陸上短距離での、予想もしなかった、まさに快挙でした▼100mでは9秒台の選手が1人もいない日本が、全員9秒台のジャマイカに肉薄。一時は世界記録を持つポルトに並びかける場面も。仲間のため、チームのためだからこそ発揮できる力があることを実感しました▼巻頭で特集した市民体育大会。何と80年近い歴史と伝統があります。今年はその地域が最高のチームワークを見せてくれるのか楽しみです(S)